

令和6年度一般会計決算の概要

● 歳入

歳入については、市税収入のうち、固定資産税が企業の設備投資に伴い、2億1,219万円増収となったことなどにより、市税全体としては前年度を1億8,147万円上回る224億4,374万円となり過去最高の税収となりました。

また、庁舎建設基金繰入金が25億6,341万円の減となったことなどにより、繰入金が37億8,175万円の減収となる一方、定額減税の実施に伴い、定額減税減収補填特例交付金が6億3,933万円の増となったことにより、地方特例交付金が6億3,370万円の増収となりました。

この結果、歳入の決算額は、前年度比16億4,658万円、2.9%減の558億461万円となりました。

● 歳出

歳出については、令和5年度から4か年の市政運営の道標としてスタートした第3次基本計画に則り、次代へつなぐまちづくりのステップアップを図り、持続可能なまちづくりを推進するための施策に取り組みました。

主な内容としては、新たに災害用備蓄倉庫を建設するとともに、高規格救急自動車や水槽付消防ポンプ自動車の更新整備による、防災・消防体制の充実に取り組んだほか、子育て世帯への経済対策として、児童手当の所得制限の撤廃に加え、支給対象を高校生世代まで拡充するとともに第3子以降の支給額を増額し、経済的負担の軽減に取り組むことによる、子育て支援の充実、朝日新庁舎の官民連携による整備に向けて建設工事を開始するとともに、駅前新庁舎の自前建設に向け、設計業務を開始することによる、公共施設等の総合的な管理の推進など基本構想に定めるまちづくりの基本方向に従い各種事業に取り組みました。

この結果、歳出の決算額は、前年度比15億3,044万円、2.8%減の530億7,594万円となりました。

● 収支の差し引き額

令和7年度に繰り越した事業を除く実質収支額は、15億8,700万円の黒字となりました(実質収支額のうち、12億8,700万円は財政調整基金へ積み立てました)。